

2023.9.18

# 営業員と一体となった「減災」の教宣活動

一生涯のパートナー

**第一生命**

 Dai-ichi Life Group

# 第一生命の概要

## 創業



第一生命グループ

**121年**

## 社員数



約**4.9万**名

## 拠点数



支社

**92**拠点

営業オフィス

**1,153**拠点

## お客さま数



個人のお客さま

約**1,000万**名

お取引企業数

約**16万**社

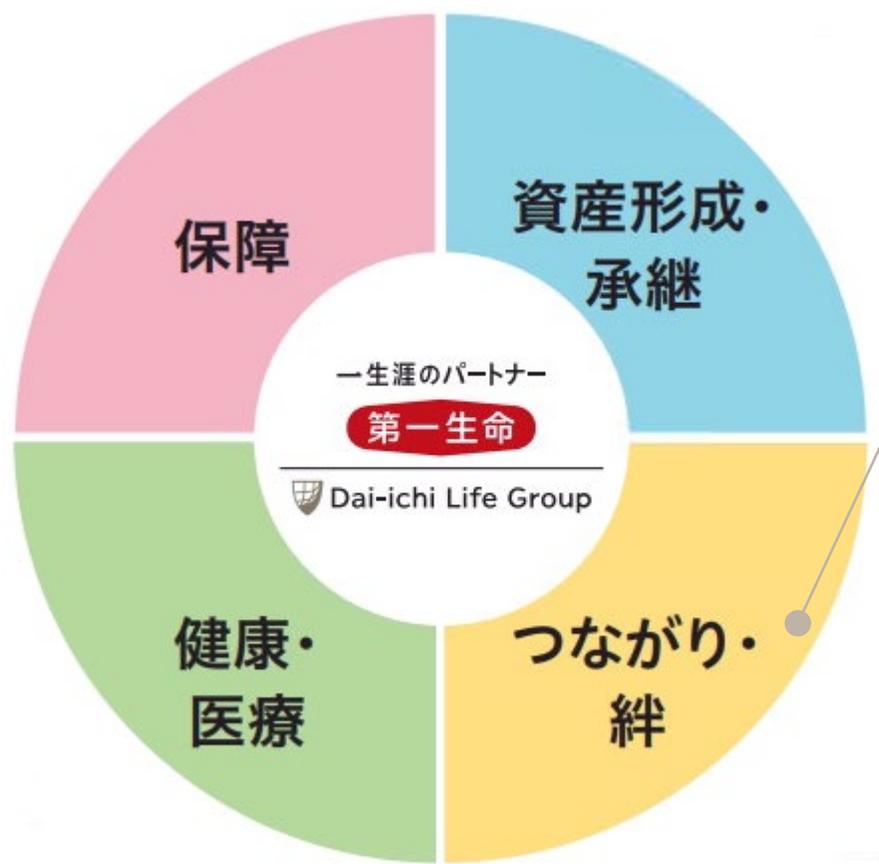
第一生命保険株式会社は、第一生命グループの中核子会社



# 第一生命グループの目指すこと

## すべての人々の「well-being（幸せ）」を守り、高める。

### 4つの体験価値



### ● 自治体との連携

- 全国47都道府県と連携協定等を締結  
(42都道府県とは「包括連携協定」)
- 市区町村とのつながりにも進展  
(330を超える市区町村とも「包括連携協定」を締結)
- 協定から協働へ  
(依頼への単なる協力ではなく、地域の課題を一緒に解決)

- 健康増進
- 高齢者支援
- 地域活性化
- 青少年育成
- 防災・防犯
- 金融リテラシー
- 地域PR
- スポーツ
- など

# 三度の巨大地震を経て培われた第一生命の「DNA」



## 関東大震災



震災10日後の第一相互館周辺

契約者各位

未曾有の大震災に就き不取敢契約者各位の御安否御見舞申上候幸に第一相互館は震害無之且つ五階四階三階二階の大部分は火災を免れ候を以て弊社は館内に於て事務開始致し候尙社業上固より何等支障懸念の節も無之候間何卒御安心被成下度候 敬具

東京市京橋區南傳馬町三丁目五番地  
第一生命保險相互會社

第一相互館の無事と同館での事務開始を案内する新聞広告

震災直後、金融機関に支払猶予令が出される中、  
 保険金の完全支払い・保険金支払手続きの早期開始・保険料支払  
 猶予期間延長を決定

# 三度の巨大地震を経て培われた第一生命の「DNA」

## 2

## 阪神・淡路大震災



神戸支社臨時窓口（上）と執務風景（右上）。東灘第一支部に張られた職員の無事を伝える張り紙（右）



大阪総局が手配した救援物資運搬用のトラック

保険金・給付金・契約者貸付手続きの簡易取扱や見舞金の寄贈を実施

## 3

## 東日本大震災



近隣の方へのヒアリングの様子



支援物資のバケツリレー

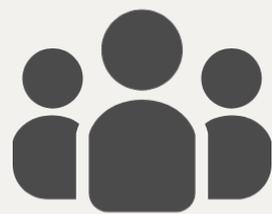
阪神・淡路大震災時の対応のスピードアップ等を実施したほか、  
全社一丸で安否確認に取り組み、震災後4カ月で対象契約 約86万件、  
ほぼ全員の安否を確認し、迅速に保険金・給付金のお手続きをご案内

# 社員に対して行う防災・減災に係る一般教育

## Before



総務部



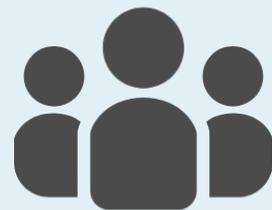
本社・支社・  
営業オフィス

- ・9月防災月間運営
- ・防災態勢強化（EMC訓練・備蓄品確認・自宅用備蓄品斡旋）
- ・防災研修（公官庁のHP等を活用し、教材作成）

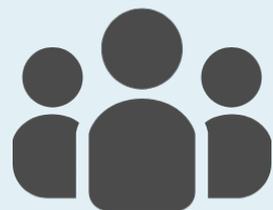
社内への浸透には、  
社外への情報発信が  
効果的との金言を受け、  
新たに追加

（ご家族やお客さまに説明するに  
は本人が理解する必要＋社外か  
らの情報で自社を認識）

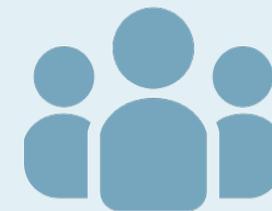
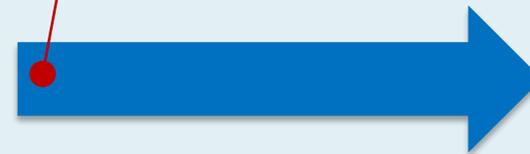
## After



総務部

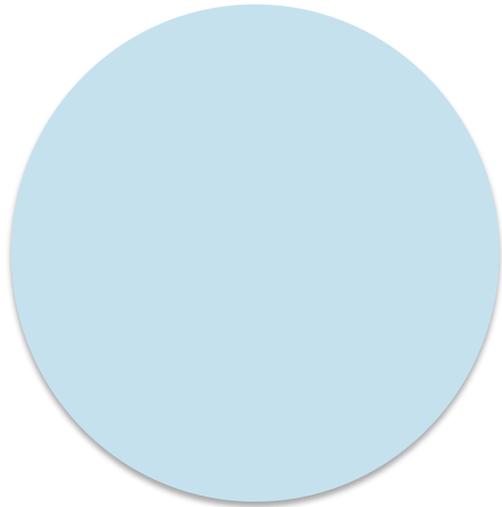


本社・支社・  
営業オフィス

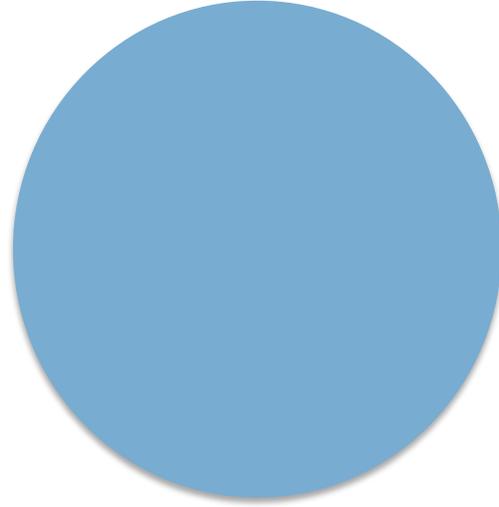


ご家族・  
お客さま

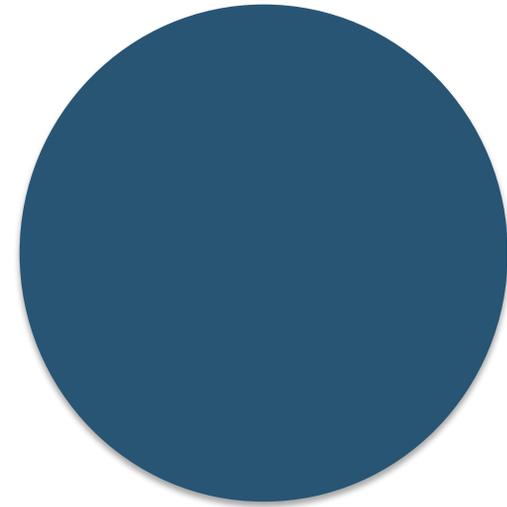
# 「災害への備え」コラボレーション事業



×



×



**第一生命のDNA**

**第一生命の抱えるインフラ  
(全国のネットワーク・  
多くの社員・お客さまとの  
長期の信頼関係等)**

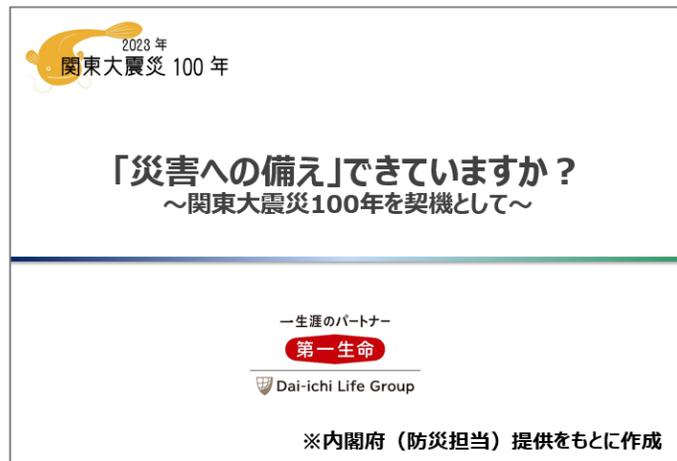
**内閣府の知見**



2023年  
関東大震災 100年

**社員・ご家族・お客さまといった大切な人を守るための教宣活動**

# 「災害への備え」コラボレーション事業における具体的な対応



最新のデータを  
盛り込んだ研修資料  
の協働作成

参事官コメントを含む  
研修動画の協働作成

みんなで減災抜粋版  
(専用教宣ツール)  
の協働作成

協働作成したコンテンツすべての社内外への発信

# 「災害への備え」コラボレーション事業における具体的な対応の高度化

## 新潟県と包括連携協定を締結後、以下の活動を実施

## NEW 教宣ツールを活用して情報提供

### ステップ1

【包括連携協定チラシ】



包括連携協定締結を周知

警戒心を緩める  
(話を聞いてもらう態勢確保)

### ステップ2

【防災意識アンケート】



県に働きかけ、防災意識に係る情報収集アンケートを協働作成

情報収集と注意喚起

### ステップ3

【県作成チラシの配布】



ハザードマップを手軽に確認できる県公式アプリをご案内

地域の防災態勢強化への貢献

### ステップ4 (内閣府との協働取組を活用)

【防災月間の教宣ツールを使って情報提供】



【防災に係る国内最大イベントで第一生命の取組や災害時にヒトに寄り添うDNAを紹介】



他社との差別化  
更なる信頼の獲得

&  
ビジネスチャンス創出  
(生損保)

今年は何東大震災から100年の節目の年！この機会に自治体を巻き込み、地域のお客さまの更なる信頼獲得を！

# ご清聴ありがとうございました

